

# 第4学年 体育科学習指導案

令和3年6月9日(水) 第5校時  
大田区立松仙小学校 4年4組 31名

校内研究のテーマ

## 体育が大好きな児童の育成

～3つの課題解決の視点を生かして～

### 1 単元名

体づくり運動 「多様な動きをつくる運動」

### 2 単元の目標及び単元の評価規準

| 観点       | 知識・運動  | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度  |
|----------|--|--|--|
| 単元の目標    | <ul style="list-style-type: none"><li>体づくり運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知る。(知識)</li><li>体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりする。(運動)</li></ul>  | <ul style="list-style-type: none"><li>自己の課題を見つけ、その解決のための活動をくふうすること。(思考・判断)</li><li>考えたことを友達に伝えること。(表現)</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>運動に進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けたりすること。</li></ul>  |
| 評価の視点を整理 | <ul style="list-style-type: none"><li>体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりしている。(知識)</li><li>多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをしていて、それを組み合わせている。(運動)</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>自分の課題の解決のための活動を選んでいる。(思考・判断)</li><li>自分の考えを友達に伝えている。(表現)</li></ul>         | <ul style="list-style-type: none"><li>きまりを守り、誰とも仲よく励まし合おうとしている。(公正・協力)</li><li>用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。(責任・参画)</li><li>友達の考えを認めようとしている。(共生)</li></ul> |
| 単元の評価規準  | <ol style="list-style-type: none"><li>体づくり運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知っている。(知識)</li><li>体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりしている。(運動)</li></ol>   | <ol style="list-style-type: none"><li>自己の課題を見つけ、その解決のための活動をくふうしている。(思考・判断)</li><li>考えたことを友達に伝えている。(表現)</li></ol> | <ol style="list-style-type: none"><li>運動に進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とも仲良く運動したり、場や用具の安全に気を付けていたりしている。</li></ol>  |

### 3 単元について

#### ○学習指導要領の位置付け

##### 1 目標

- (1) 各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について理解するとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3) 各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。

##### 2 内容

A 体づくり運動 体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けること。  
ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。  
イ 多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせること。
- (2) 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

これを踏まえて本単元では、児童が用具を操作する運動を通して、自らの運動の様子を捉え「こんな運動ができるようになりたい」、「こんな運動の仕方をすると楽しそう」など、児童が自分なりの課題を設定し、その課題を解決するためにどのような場や用具の操作を行うか考え出せるようにしたい。

「イ 多様な動きをつくる運動」では、「(ア) 体のバランスをとる運動」、「(イ) 体を移動する運動」、「(ウ) 用具を操作する運動」、「(エ) 力試しの運動」、「(オ) 基本的な動きを組み合わせる運動」で構成されるが、本単元では、用具を操作する運動が主となっている。準備運動で行う「じゃんけんすごろく」において、ワニの姿勢（腕立て伏せ）でじゃんけんを行い、クマ歩きやアザラシ歩きなどの動物歩きやケンケンによる移動を取り入れた運動をすることで、(ア)、(イ)、(エ)の運動を補えると考えている。また、カリキュラムマネジメントによって、年間を通してすべての構成要素を扱い、様々な基本的な体の動きの幅を広げていくとともに、動きの質を高め、高学年の体づくり運動の学習につなげていきたい。

第1・2時では、短縄や長縄、ボール、フープを使った基本的な動き（投げる・つかむ・転がす・跳ぶなど）を中心とした運動を行ったり、それらの用具を使ってできそうな運動の仕方を児童が考えたりすることができるようにする。また、その課題に対して、どのような運動の仕方が効果的か考えておく。第3時から5時では、それぞれの用具ごとに設定した自分の課題に対して適切な場を選び、こつを探しながら運動を行う。

「やってみようタイム」は、自分の課題に合った場だけではなく、いろいろな用具の操作の仕方を体験することを目的としている。例えば「体のいろいろな部分でフープを回す」ことを課題に設定した児童にとっては、フープを投げる・転がすなどの操作を行わないまま単元を終えてしまう。そのため、「やってみようタイム」では、自分の課題に関わらずたくさんの用具の操作に触れさせたい。「チャレンジタイム」では、自分の課題を解決できたと思ったら帽子の色を赤に変えさせる。赤帽子になっている児童を選び、同じコーナーで運動している友達に運動の様子を発表させる。その後、友達の動きを取り入れて運動したり、自分の課題に向けてさらに取り組んだりする。

#### ○運動の特性

(一般的特性)

- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体の基本的な動きができるようになる運動である。

(児童から見た特性)

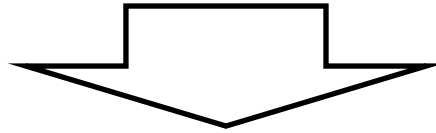
- ・脳・神経系が急激に発達するこの時期の児童にとって、見る、聞く、触れて感じるなど様々な感覚を働かせたり、手や足をはじめとする多くの運動器官を動かしたりしながら、体のバランスをとって運動すること、いろいろな方向に移動すること、用具の動きにタイミングよく反応すること、力の入れ具合を調整することなど基本的な動きを習得することに適した運動である

○児童の実態

本学級の児童は、体育の学習に意欲的である。休み時間には、クラスのほとんどの児童が校庭や屋上などで体を動かしている様子が見られる。昨年度は、臨時休業などの影響により体育の学習も年間指導計画通りに実施することが難しく、学習の機会が失われた運動もある。特に本単元で扱うボールを操作する運動は、昨年度は体育の時間のみに限定された。限られた条件での遊びによって短縄をする機会は増えたが、長縄に取り組める期間も短縮となりフープを扱う経験も低学年での学習時や休み時間程度というのが現状である。また、本学級の児童は、体育の学習に意欲的ではあるが、授業や体育科学習発表会の練習において、自分なりの目標はもつことができても、そこに向けてどのように進んでいけばよいか具体的な方法を見つけることが難しい児童が多い。そこで、本単元の学習を通して、自分で「こんな動きができるようになりたい」、「もっと遠くに、高くするにはどうすればいいのか」などの課題を自分で設定し、その解決に向けて自分なりのコツを見付ける力を養っていききたい。

○課題解決の視点

- ①課題を見つける導入の工夫
- ②課題解決に効果的に取り組むための指導
- ③課題解決に向けた考えを再構築する振り返りの工夫



○テーマに迫る手立て

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <p>課題を見つける<br/>導入の工夫</p>            | <p><b>1・2時間目の扱い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元の1・2時間目に、多様な動きをつくる運動の中から、用具を操作する運動をたくさん取り入れ、自分の体に向き合う時間をつくる。その中から、自分が得意で伸ばしたい動き、不得手でできるようになりたい動きを見付け、自分の課題を設定する時間をとるようにする。</li> </ul> <p><b>やってみようタイム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2時間目で自分の課題を設定したが、各時間の「やってみようタイム」でいろいろな場や用具の操作を体験することで、自分の課題を確認したり、再設定したりして、課題に対して思いをもって活動できるようにする。</li> </ul> |
| <p>課題解決に効果的に<br/>取り組むための指導</p>      | <p><b>場の設定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば、ボールを投げてキャッチするまでの間に拍手をしたり、回転したりする動きを「投げ上げ」とするなど、用具の操作が似たような動きをまとめてコーナーを作ることで、同じ動きをする友達同士で声を掛け合ったり、動きを見合ったりできるように、場の工夫をする。</li> </ul> <p><b>コーナーごとの指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各コーナーを教員が回り、用具の操作や課題解決に向けた取り組み方など、児童のよさを価値づけたりどのようなコツを見つけたのか問い返したりする。</li> </ul>                                      |
| <p>課題解決に向けた考えを再構築する<br/>振り返りの工夫</p> | <p><b>振り返りカード</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1・2時間目に自分の課題をつくる時間を設けたり、「やってみようタイム」後に自分が設定した課題の変更・調整をする時間を設けたりして、事前に振り返りカードに自分の課題を記入することで、課題に対して主体的に取り組めるようにする。</li> </ul>   |

## 5 本時の活動計画（4/5）

### （1）本時の目標

- ・課題を解決するために場や練習方法を工夫し、運動の行い方を身に付ける。

### （2）本時の展開

| ○児童の主な学習活動<br>・予想される児童の思いや考え  | *教師の指導・支援<br>☆評価規準（評価方法）【観点】  |
|---|---|
| <p>1 めあての確認(1分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> <b>め 動きを工夫して運動し、できる動きを増やそう。</b> </div> <p>2 準備運動（3分）</p> <p>3 じゃんけんすごろく（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワニ（腕立て）の姿勢でじゃんけんをして、勝ったら動物歩きやケンケンで移動する。</li> </ul> <p>4 場・用具の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーナー間をコーンなどで区切る。</li> </ul> <p>5 第2時に決めたフープ運動の自分の課題を確認する。</p> <p>6 やってみようタイム（6分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーナーの種類やそれぞれのコーナーでの用具の操作の仕方を確認し、試しながら自分の課題に合った場を探す。</li> <li>・課題が変わる場合は、新たな課題をワークシートに書き、指導者に伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の課題に合ったコーナーに移動する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>*集合時、児童同士の間隔が狭くならないように声をかける。</li> <li>*動きが雑にならないように、運動に合わせて意識する部分分かるように声をかける。</li> <li>*移動の仕方、用具を置く位置など、安全に気を付けて準備をするよう声をかける。</li> <li>*自分の課題がどのコーナーに合っているか判断することが難しい児童に対して、事前にワークシートを確認しておき必要に応じて助言する。</li> <li>*やってみようタイムで、児童が難易度を変えたり課題となる運動の種類を変えたりした場合は、新しい課題をワークシートに明記させ、どの場で運動を行うのか確認する。</li> </ul> |
| <p>7 チャレンジタイム（20分）</p> <p>○自分で決めた課題に合わせてコーナーを選んで運動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕でフープを回すことができたから、首でも回してみようかな。</li> <li>・両手でできたから、片手や利き手じゃない方でもやってみよう。</li> <li>・フープを二本や三本でも回せるか挑戦してみよう。</li> <li>・体操選手みたいに向かい合って投げてパスしてみよう。正面に移動したい輪に手を通したいすとうまくとれたよ。</li> <li>・両腕で回しながら歩いたら面白そうだな。</li> <li>・手首を返したら自分の方に戻ってくるよ。どこまで遠くに投げてもできるかな。</li> <li>・フープを回しながらボールをキャッチできるかな。友達とやってみよう。</li> <li>・フープを横にぐるぐる回転させて、その間に隣の人と入れ替わってみよう。人数をだんだん増やすと、楽しそうだ。</li> </ul> <p>○自分の課題を解決できたら帽子を赤に変える。</p> <p>○自分の課題をどのように解決したか、近くの友達にコツを伝えながら発表する。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>*周りの友達や隣のコーナーとの距離に気を付けるなど、安全に配慮して運動するように声をかける。</li> <li>*どうやったらうまくいったか、体のどの部分を意識して運動しているかなど、児童が課題の解決のために気を付けていることを質問しながら回る。</li> <li>*児童に動きのこつを聞いたり、なぜそのような動きをしてみようと思ったのかを問い返したりすることで、同じコーナーで運動している児童にも、自分の課題の解決の手がかりになるようにする。</li> <li>*赤帽子の児童を中心に、自分の課題をどのように解決したのか試技をさせて確認する。</li> </ul>                |
| <p>8 整理運動（3分）</p> <p>9 個別の振り返り（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で決めた課題に対して、自分の運動の様子や挑戦できたことを振り返る。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>*使った部位を意識してほぐすように声を掛ける。また、本時の自分の運動の様子を振り返りながら運動を行うよう声をかける。</li> <li>*友達との関わりや自分で見付けた動きの工夫など、振り返りのポイントを示しながら、児童が振り返りに行かせるようにする。</li> <li>☆自己の課題を見つけ、その解決のための活動を工夫している。<br/>（思考・判断）【振り返り】</li> </ul>   |
| <p>10 全体での振り返り、次時の見通し（2分）</p> <p>11 片付け（2分）</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>*振り返りを発表し合い、高まりを感じた部分を共有する。</li> </ul>   |

